

【様式】

平成29年度 学校マネジメントシート

学校名 (桑名工業高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像	○ 生徒・教職員が一体となり、生き活きとした活気あふれる学校	
(2)	育みたい児童生徒像	○ 「挨拶・身だしなみ・きれいな学校」(桑名工業三原則)が徹底され、授業はもちろん、部活動、生徒会活動、資格検定試験などに生き活きと取り組んでいる。 ○ 「地域と歩むものづくり」を目標に、「桑名版デュアルシステム」や「インターンシップ」を有効に活用し、人間性豊かな専門的職業人を目指している。
	ありたい教職員像	○ 教科指導とキャリア教育の充実に向けて、和を尊びチーム桑名工業の一員として意欲的に取り組む教職員集団。 ○ 失敗を恐れず常に前向きにチャレンジする姿勢を保ち続けられる教職員。 ○ 生徒が興味・関心を持てる授業を展開するよう、常に研究を怠らない教職員。 ○ 資格取得指導・部活動の指導や教育相談にも積極的に取り組める教職員。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<生徒> 進路実現、充実した学校生活 <保護者> 生徒の進路実現、基本的な生活習慣の確立、人間性豊かな人格の形成 <地域、地元企業等> 地域で活躍できる社会性を身につけた、人間性豊かな職業人の育成	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待 <保護者、中学校関係者> 情報共有、連携、協働 <地域、地元企業等> 地域で活躍できる人材育成	連携する相手への要望・期待 <保護者、中学校関係者> 本校教育活動への理解、協力、情報共有 <地域、地元企業等> 本校教育活動への理解、協力、情報共有、指導
(3) 前年度の学校関係者評価等	○ 就職試験では、集団討議によりコミュニケーション能力を測る企業が増えるだろう。 ○ デュアルシステムに期待している。出前授業などでアピールしても良いのではないか。 ○ キャリア教育をとおして、主体的な人間を育てて欲しい。 ○ 地元の中小企業にも目を向けて欲しい。 ○ 高校時代には、将来困った時に助け合えるような横のつながりを作って欲しい。 ○ 企業が求める人材と推薦される人物にギャップがある、このギャップを埋めて欲しい。	
(4) 現状と課題	教育活動	桑名工業三原則、コース選択のためのガイダンスや個人面談の実施、キャリア教育、進路シミュレーションなどきめ細かい指導は、問題行動の減少や進路実現に繋がっている。 ○ 業者テストの事後指導による基礎学力の定着を図る。 ○ コース選択において、興味関心や将来の進路より友人関係を優先させる生徒がいる。 ○ 次年度開設のキャリア探究コースの準備を進める。 ○ 保護者と連携した遅刻指導の取組を充実させ、基本的な生活習慣の確立を目指す。 ○ より高度な資格へ挑戦できる指導体制の充実とクラブ活動の活性化に取り組む。
	学校運営等	○ 地域と歩むものづくりに基づき、地域の思いに応じた情報発信を積極的に行い、本校への理解と信頼関係づくりを目指す。 ○ 実習・インターンシップ・学校行事などは、生徒との人間関係を結びやすく本校の強みである。より強みを生かすため、アンケート結果の活用を工夫する。 ○ 本校の教育活動をスムーズにすすめるため、校務分掌の見直し、業務負担の均等化など、チーム桑名工業で取り組むことのできる組織づくりを目指す必要がある。 ○ チーム桑名工業をベースに、総勤務時間の縮減に取り組む。

3 中長期的な重点目標

教育活動	1. 基礎・基本を大切に魅力ある授業づくりと、桑名工業三原則の堅持に努める。 2. 次年度開設のキャリア探究コースの整備とこれを組み込んだ体系的なキャリア教育を推進する。 3. グローバル人材育成のため、海外インターンシップに積極的に取り組む。
学校運営等	4. 「情報共有と連携」をキーワードに、チーム桑名工業で取り組む組織づくりを進める。 5. 総勤務時間の縮減に努める。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
魅力・三原則の授業づくり	魅力ある授業づくりのため、教材、指導方法について教員間で情報交換を行い授業力の向上を図ります。 【活動指標】 魅力ある授業づくりの達成度を測るため授業満足度のアンケートを実施 【成果指標】 各教科での満足度80%以上	各教科の授業満足度調査は実施できなかった。 生徒アンケートでの『本校では、「皆さんの意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業を行っている」と思っていますか。』の質問に対しては71.6%の生徒が満足している。しかし、指導方法等の要望についての記述もあり今後の課題と考える。	◎
キャリア教育	キャリア探究コース設置のための準備と生徒が進路実現に合致したコース選択ができるように支援します。 【活動指標】 コースガイダンス、系ガイダンス、実習見学会、コース選択面接の実施 【成果指標】 生徒のコース選択満足度100%	1年生のコース選択に関わって、すべて計画通り実施した。コース選択委員・1学年団が連携し、生徒を支援できた。 キャリア探究コースの進学専攻への希望は一部かなわなかった生徒がいたが、アンケートでは91.2%が満足であった。	◎
海外インターン	生徒の国際的視野を広げるとともに、グローバルな舞台で活躍する人材を育成します。 【活動指標】 海外インターンシップや留学を行った生徒数 【成果指標】 2名以上	計5名の生徒が参加した。 ・全国工業高等学校長協会 第17回高校生海外研修 2年生1名 ・県教育委員会 「工業高校生」海外インターンシップ 3年生 2名、2年生 1名、1年生 1名	◎

改善課題

- 他のアンケートに、授業方法等の要望についての記述があったため、生徒から授業満足度調査をする必要がある。
- 目指す資格を精選し、合格率をあげる。
- 桑名工業三原則を徹底する。現状は、本校の特徴として保護者からの認知度も高く達成できている。

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
情報共有と連携	桑工安心メールを利用した情報発信の充実に取り組みます。 【活動指標】 登録の案内を頻繁に行う 【成果指標】 登録人数、生徒90%、保護者80%	従来の学校行事（各年別）の配信に加えて、台風時等の休校等の連絡配信が行えるようになった。また、災害時の安否確認もこのメールシステムで行えるよう整備した。 登録人数 生徒41.9% 保護者82.8% 77.1%の保護者が情報発信について満足しているが、自然災害時の情報発信の遅さを指摘された。	◎
総勤務時間の縮減	【活動指標】 ・定時退校日を月1～2日設定する。 ・部活動休養日を週に1日以上設定する。 ・1時間以内に終了する会議の割合を80%以上 【評価指標】 ・一人当たりの時間外労働時間を月4時間縮減 ・一人当たりの休暇取得日数を年1日分増加 ・月80時間を超える職員を1名以上削減	・一人当たりの時間外労働時間を半数以上が1～2時間の縮減を実感している。 ・一人当たりの休暇取得日数は平均0.3日増加した ・月80時間を超える職員の増減なし。	◎

改善課題

- 桑工安心メールの登録率を上昇させる。情報発信時間の見直しと、家庭での判断の周知を行う。
- 働き方改革の意識を向上させ、定時退校日や休暇取得率の向上を図る。

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒は益々良くなっている。生徒自ら三原則や資格取得に取り組めるようになって欲しい。 ○保護者にも地元企業の良さを伝える方法はないだろうか。 ○取得した資格は、入社後の現場でどう生かされているのかを伝えて欲しい。 ○教員間の授業研究を活発にしてください。 ○海外インターンシップを大いに活用してください。
---------------------	--

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○魅力ある授業づくりのため、授業満足度調査および研究授業を充実させる。 ○将来の仕事と関連付けて、資格取得の意義を理解させたいので、合格率をあげる。 ○自主的に桑名工業三原則を守るよう指導し、本校の魅力とする。
学校運営についての改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○学校HPにツイッターを活用することで、情報発信を増やし、定期的に見る習慣をつける。 ○台風接近や大雪が予想される場合、前日に桑工安心メールを発信し、注意喚起を行う。 ○災害のおそれがある場合には、先ず保護者が登校の判断をする、ということの周知を行う。 ○働き方改革の意識を向上させ、勤務時間の縮減や休暇取得率の向上を図る。